

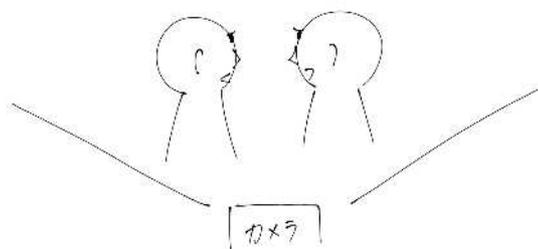
ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース (静岡と世界を繋ぐマイプロジェクトコース)		訪問国	アメリカ合衆国	
学校名	静岡サレジオ高等学校	氏名	安部心葉	学年	2

1. 日時 : 2024. 07. 15~2024. 08. 02 19 日間
2. 渡航先 : アメリカ合衆国 ロサンゼルス
3. 受入先 : FLS International Citrus College
4. 留学計画 : 授業選択できる演劇はどのようにしてアメリカの人々の生活に馴染んでいるのか
5. 探求テーマ : 自己表現の仕方や演技指導方法、受講生の感性や育ち方、意識は日本とどのように異なるのか
6. 研究方法 :
 1. 現地の講師のもと、映像について学ぶ
 2. 映画を制作する
 3. 現地の人に演劇について質問する
 4. スタジオ見学に行く

7. 研究行動 :

・ショートムービーを制作する前に、カメラの基本的な使い方や撮影に用いる道具の名称などを教わった。また、人物を撮影するときには、一つの視点から見た角度で撮ることを意識するなど、普段何気なく映像を見ているだけでは気が付かないような知識を獲得できた。



- ・舞台設定、セリフ、役柄、撮影場所、編集方法など、一から映画を作るにあたって、すべてプログラム参加学生で作上げた。
- ・SONY スタジオやワーナー・ブラザーススタジオなどを見学し、映画の歴史的背景や、実際に撮影中の倉庫の真横を通過するなど、ハリウッドの空気感を味わった。

8. 研究結果：

- ・ホストマザーに映画への関心についてインタビューを行ったところ、「ロサンゼルスにはハリウッドという聖地やスタジオがたくさんあり、必然的に映画への関心も高くなる。映画を見ることでリラックスできる部分がある。」と述べていた。
- ・ショートムービーを完成させた。映像と音声のタイミングを合わせたり、英語での芝居に苦戦したが、プログラムに参加する学生同士で励まし合い、最後まで作り上げることができた。



9. 考察：

- ・映画を見ることでリラックスできるが、ロサンゼルスに住む人はより映画への関心が高く、その分心の拠り所になる割合も高いと考えた。
- ・演技において、台本を覚える、理解する、ディスカッションをして解釈を一致させるときに言語は必要不可欠だが、自身の内面に落とし込んだあとは語学力よりも分析力が求められる。それは言語に関係なく、日々の練習の積み重ねが大切だと考えた。

10. トビタテのつながり

小学生のとき、「高校で留学したい」と考えていたが、高校生に近づくに連れ、そして高校生になるとなおさら「留学は夢のまた夢」と思うようになっていた。そんな中で飛び込んできたトビタテ留学 JAPAN のチラシが、私の運命を変えた。もちろん留学で困難もあった。しかしずっと追いかけている夢を目標にしたいと思っていた中で、日本の外に視野を向けるタイミングができたことは、さらなるモチベーションアップに繋がった。また、海外に第二の故郷ができ、日本とはかけ離れた場所に私のことを知っている人がいるという事実は、私の居場所が日本だけではないという豊かさをもたらしてくれる。留学は確実に私の人生を変え、さらなる目標達成のために活かされていく。

